

三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」では、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【環境保全】。環境保全活動を行っている団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：いなべ市市民活動センター

いなべの里山を守る会

〒511-0205 いなべ市員弁町笠田新田 1245 ☎0594-74-3689 [URL http://inabesatoyama.jimdo.com/](http://inabesatoyama.jimdo.com/)



草刈風景

地域の里山をかつて人が出入りしていたときのように整備し、人と自然が調和のとれた環境を再生する事を課題としています。ただ、以前のように畑を耕す人がいないので、子どもたちの遊び場をつくるなど、新たな利用方法を考えています。また、現在整備を行っているフィールドを環境保護啓発の発信地として、山での遊び、樹木観察会、コンサートなどを計画しています。

地域に、いくつかの里山保全団体をつくることを目的とし、自然環境を守ることができればいいと思います。活動しています。

年齢、性別関係なく、地域の環境を守ろうという気持ちのある方は、まずはお電話ください！ 作業以外のお手伝いもいろいろあります。（広報、イベント企画、など）

草刈、間伐などの作業から、イベント企画、広報などいろいろな活動を行っています。月2回の活動です。一緒に里山を守る活動に参加してください。

グリーンボランティア『もり 森林づくり三重』

情報提供：四日市市なやプラザ

〒512-1303 四日市市小牧町 786 國保 明 宅内 ☎&FAX059-339-0410 ✉kokubos_2236@m5.cty-net.ne.jp
[URL http://gvmie.web.fc2.com](http://gvmie.web.fc2.com)



当会所有の森で「ちよっぴー休み！」

- ①山林の間伐、枝打ち、下草刈り、雑木林の整備（枯木・風倒木の処理）、竹林の除伐、学校林の危険木伐倒、密生灌木（かんぼく）の除伐等
- ②山林内の不法投棄物の処理等
- ③企業等の依頼により森とのふれあいイベント（伐木体験、自然観察、散策路づくり等）の指導協力
- ④学校・各種団体の依頼により学童・PTA・地域住民に、森林観察・森の遊び・木工教室等を実施
- ⑤温泉街の空き店舗を活用した「湯の山温泉グリーン工房」のインストラクターとして、来客者に間伐材を利用した木工体験を実施
- ⑥三重県森林ボランティア交流大会、各種研修会、行政・各種機関主催のシンポジウム、展示会等への積極的参加

上記ホームページにアクセスしてください。または上記事務局までご連絡ください。

三重県内をフィールドとして間伐、森林体験等の企画・指導、公共施設や個人宅の手に負えない木の伐採、木工教室など老若男女（若と女は少ない…）が幅広く活動しています。

地球クラブ

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

〒510-0241 鈴鹿市白子駅前 9-20 NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう気付 ☎059-387-0767 ✉budou@mecha.ne.jp



「夏の鈴鹿川体験」の筏（いかだ）ながし体験

環境問題に関心が深い、退職した人たちが2002年に自発的に発足した団体です。個々が目指したい活動は個別に続けながら、月例会で情報の発信と共有に努めつつ、未来の担い手である子どもたちへの学習機会を提供を共通テーマにしています。

地域（鈴鹿川流域圏）で続く夏と冬のイベント、「夏の鈴鹿川体験」と「鈴鹿川流域の環境展」には、自分たちのブース出展と合わせて、他の活動グループや企業、行政との協働による運営に参加して、来場される親子のみなさんに環境意識を高めてもらう努力を続けています。

夏休みには、大切な水源でもある鈴鹿川の自然を、魚とりや水遊び等を通して知ってもらいます。また新年早々に、どんぐり、木の葉、松ぼっくりや貝がらなど身近な自然にある素材を使う工作を楽しんでもらいながら、人が生かされている自然の恵みに気付いていただけるよう、声かけに励んでいます。豊かな自然と人の幸せは、これからは子どもたちが担い手です！

まずはお電話ください！

会員個々が自由に考え行動できるグループです。心豊かな次世代を育てる活動に励む仲間に加わっていただき、楽しい時間を一緒に過ごしましょう！
世代交代も私たちの大切なテーマです。若いあなたも是非！

特定非営利活動法人 みえ里山自然ふれあいの会

情報提供：津市市民活動センター

〒514-1105 津市久居北口町 2698-10 ☎059-256-4557 ✉inoue23@arion.ocn.ne.jp



里山樹木観察会

里山は人間が入って自然の恵みを利用し楽しんでこそ里山です。何もしなければただの荒れた雑木林になってしまいます。安全に楽しめる里山に向け、環境を整備し、子どもを含め地域の皆さんや会員が楽しく安心して里山の自然と触れ合う場を提供することが「みえ里山自然ふれあいの会」の主な活動目的です。

里山の広場、散策道、農道などの草刈りを定期的に行い、樹木を間伐し林内に日光が十分届くように配慮しています。また、里山内の枯れ木を処理してあちこちに積みあげ、落ち葉を集めてその上に重ね、カブトムシやクワガタの産卵育成の場所を造成し、彼らが棲みやすい環境をつくっています。

また、里山内の湿地には2カ所に木製の遊歩道が架けてあり、湿地を観察しながら散策できるように整備をしています。また、会員が里山に来て収穫を楽しめるように、果樹園の管理、シタケ、ヒラタケの培養管理なども行っています。

活動内容をホームページ
(www.mienosatoyama.org/)
でご参照いただき、メール・電話で
ご連絡ください。

現在、会員数は40名ですが、活動の中心となる里山の保全・整備に参加できる会員は限られ、常に人手不足の状態にあります。里山に興味を持ち活動に参加したいと考えている人大歓迎です。一度現地へお越しください。

「竹の都・明和」農業生産研究会

情報提供：松阪市市民活動センター

事務局：〒515-0322 多気郡明和町上村 1400-52 (竹粉栽培実証圃場：多気郡明和町平尾) ☎0596-52-5370 ✉sy03-01-1400@email.plala.or.jp



日常は農業を体験しながら、農業祭で地域
おこしに取り組んでいます。

人の手が入らなくなった竹林が雑木林や住宅地へ侵食、拡大する…という放置竹林の問題が大きな地域課題となっています。そんな中、同研究会では、竹の有効活用を通じて新たな資源循環の仕組みづくりに取り組んでいます。平成21年、新たな竹の活用法を模索するなかで、独自で竹粉を開発。竹が持つ豊富な糖分やミネラルが生ゴミを発酵・分解するという特徴を生かし、竹粉末を利用した生ゴミの堆肥化、有機野菜の栽培をはじめました。ゴミの処理には収集から運搬、処理などにたくさんのエネルギーや費用がかかり、地球温暖化の原因と言われるCO₂も多く発生します。竹粉末で堆肥化することで、生ゴミの減量にもつながっています。また資源再生の観点から、エコキャップ・廃食油の回収などのリサイクルも推進しています。近年では、この活動を地域へ広め、環境意識を高めてもらいたいと、地元の小学校などに出向き、環境学級を行うなど、地域に密着した活動をすすめています。

学生ボランティアを募集して
います。日時などは応相談。
お気軽にお問い合わせくだ
さい。

地域の方が気軽に参加できる「タケカフェ」や、廃食油の回収、廃食油エコキャンドル教室、エコキャップ回収など温暖化防止・人との絆の場づくりに取り組んでいます。新たに「地球温暖化親子教室」も企画しています。

御浜町生ごみ減らし隊

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

〒519-5204 南牟婁郡御浜町阿田和 4855 ☎05979-2-2779



先進事例の視察の様子

「御浜町内の生ごみを減らしたい」という思いで4年前に立ち上げられ、ぬか・EM・もみ殻の3種類で作った「EMぼかし」や、段ボールコンポストなどを用いた生ごみの堆肥化による減量に取り組んでいます。昨年からは、不要な草木を肥料として用いる炭素循環農法を取り入れるなど、御浜町とも連携しながら活動を広く展開しています。また、団体を立ち上げた当初、視察先の高齢者の方々が同様の手法で多くの収入を得ていることを知り、御浜町でも高齢者の収入を増やして元気なまちにしたいという強い動機が生まれ、毎月第2日曜日には道の駅パーク七里御浜で開催している「みはま元気まつり」で出店をするようにもなりました。自家製のEMぼかしや有機野菜を販売しており、こちらも徐々に成果が出始めています。今後はより多くの手法を取り入れながら、多様な主体と共に「オール御浜で生ごみ減らし隊」としてさらなるステップアップを目指したいと考えています。

連絡先への問い合わせ、研
修会への参加 など

日々の取り組みの中で感じる小さな喜びを糧に、地域の元気と生ごみの減量化に向けて取り組んでいきますので、是非私たちと一緒に活動しましょう。手をかけている畑にもご案内しますので、是非一度見に来てください。